<table>
<tr><td colspan="3">会　議　録</td></tr>
<tr><td>会議名</td><td colspan="2">第４回日野市地域公共交通会議</td></tr>
<tr><td>日時</td><td colspan="2">平成 21 年 2 月 13 日（金）10:00 から 11:30 まで</td></tr>
<tr><td>会場</td><td colspan="2">生活保健センター検査室（１）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">出席者</td><td>委員</td><td>別紙のとおり</td></tr>
<tr><td>事務局</td><td>都市計画課渡辺課長、原嶋課長補佐、小俣主任、白井主事</td></tr>
<tr><td>コンサル</td><td>セントラルコンサルタント水澤氏、沼賀氏</td></tr>
<tr><td>議題</td><td colspan="2">議事
（1）モビリティ評価について（報告事項）
（2）事後評価について（報告事項）
（3）分科会について（報告事項）
（4）連携計画（案）について（協議事項）</td></tr>
<tr><td>公開・非公開の別</td><td colspan="2">公開</td></tr>
<tr><td>傍聴人の数</td><td colspan="2">０名</td></tr>
</table>

１．開会

２．あいさつ（谷井会長）

３．出席者紹介
・人事異動による新委員を紹介した。（資料１）

４．議事
（１）モビリティ評価について（報告事項）
①調査方法
②評価結果
・コンサルタント（沼賀氏）から説明（資料４別冊）

＜意見、質問等＞
吉田委員
・各評価を平均しているが観点の違うものがある。
⇒わかりやすさに重点をおき総合評価とした。（回答：コンサル）
（２）事後評価について
①事後評価の目的
②評価項目
③評価スケジュール
・事務局（渡辺都市計画課長）から説明（資料２）

（３）分科会について

　①分科会の目的

　②ワゴンタクシーの利用実態

　③運行継続について

　・事務局（渡辺都市計画課長）から説明（資料３）

（４）連携計画（案）について

　①日野市の現況及び課題

　②基本的な方針

　③地域公共交通総合連携計画の区域

　④地域公共交通総合連携計画の目標

　⑤事業の概要及び事業の実施主体

　⑥計画期間

　⑦参考資料編

　・コンサルタント（沼賀氏）から説明（資料４）

＜意見、質問等＞

吉田委員

・モビリティ評価の結果が基本方針と結びついていることを明確に表現するべき。

・路線再編に関して、ミニバスに限らず情報提供やＰＲを計画に盛り込むべき。

藤田委員

・車いす利用者や高齢者がスムーズに乗り降りできるよう、バス停環境整備を考えてほしい。

・ワゴンタクシーについて、福祉タクシーの車両、運賃等を含めて検討してほしい。

吉田委員

・バス停のバリアフリー化に対応するため、道路事業と一体的な整備を考える必要がある。

・デマンド型の検討に関連して、有償福祉運送、福祉タクシーとの住み分けも考える必要がある。

玉野委員代理大平氏

・数値目標について、路線単体での変化ではなく、周辺の既存路線も含めた測定が必要である。

吉田委員

・利用者数の調査は１週間程度実施するべき。

事務局

・意見のまとめ

①基本方針に関して、三大拠点の連携と公共施設への利便性について、モビリティ評価結果から根拠付けをする。

②乗り継ぎに関して、既存路線も含めた情報提供を考える。

③乗り継ぎターミナルの整備はバリアフリーの視点を入れて考える。

④ワゴンタクシーの見直しに関して、福祉タクシーの車両や運賃も検討する。

⑤数値目標に関して、路線単体での変化ではなく、周辺の既存路線も含めた測定をする。

これらの意見を加えて再検討する。

・次回は、市民の皆さまの意見も入れた最終案を協議していただき、計画を策定する。

・今後の予定について（資料５）

2 月 20 日から 2 週間、市民の方々の意見を募り、3 月上旬の交通会議で最終案を審議していただく。

５．閉会